

未来へつながる確かな安心をお届けします

# 肥後保険企画

# 定期便

check



2023

2023年1月125号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 富士火災熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <http://www.higohoken.co.jp>

©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

## 謹んで新春を お祝い申し上げます。



本年も皆様のご健勝でござ幸でありませう、心からお祈り申し上げます。

社員が仕事ができるかできないか、成長するかしないかは、能力の差ではなく、考え方の違いからくると日々感じています。

例えば、何か起こった時に人のせいにするのか、それとも自分も悪いところがあったと考え、次からは行動を改めようと自分で改善できる能力があるかどうか；その人の考え方はしゃべり方でわかります。

コロナ禍で現在は自粛していますが、たとえば会社の飲み会を面倒だと思ってしまうのか、それとも仕事を円滑に進めるために打ち解けるチャンスを会社のお金でできると前向きに捉えることができるか。このように同じことに対しても考え方の違いで大きな差が生まれます。

社員を採用する側としては、短期的には能力の高い人を採用すれば即戦力になります。ただ、中長期的に成長するのは、会社の価値観に合った考え方をする人材ではないかと思っています。

左下の写真は、先月からAIGの当社担当になった糸山さんとのツーショットです。糸山さんは、私が研修生のころ大変お世話になった方です。

これまた何かのご縁。お客様への力添えよろしく願います。



糸山と一緒に

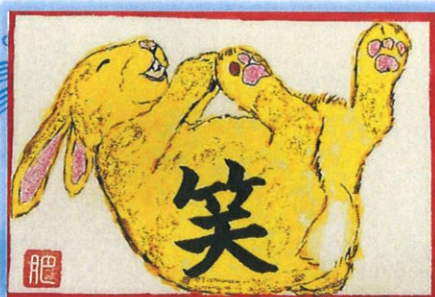
## 生命保険お役立ち一口情報

保険に加入する方法には、保険代理店や保険会社の専属営業職員から加入するほか、保険ショップや銀行、通信販売と実に多くのチャンネルがあります。

実際には半数以上の人は、代理店や営業職員から加入しています。保険ショップで加入する割合は20%弱ですが年々増加しています。

ちなみに銀行も来店型保険ショップの一つです。銀行はリスクの高い商品は勧めないイメージですが、投資信託や外貨建て保険、変額保険など想像以上にリスクの高い商品を勧められます。特に、外貨建て保険の為替リスクを説明せずに販売することが大きな問題になりました。

良いも悪いも窓口に座っている人は保険のプロ。いずれにしてもその場で契約しないで、家でもう一度ゆっくり考えることが何よりも大切です。



今年の干支はうさぎ。楽しそうに笑い転げる黄金のうさぎを縁起はがきにしてみました。

手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。

今年の干支はうさぎ。楽しそうに笑い転げる黄金のうさぎを縁起はがきにしてみました。

うさぎの後脚はなんといっても勢い良く跳ねるジャンプ力とダッシュ力。その跳躍力にあやかれるようアメリカではラビットフットのお守りや魔除けの意味もあるのだそう。

うさぎは月との関係が深く、「月＝ツキ」を呼び縁起がいい感じがします。うれしい楽しいことがたくさんあり、ずっと笑える一年でありますように。

## 仕事中のケガは労災！ 国が補償してくれるから安心???



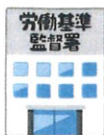
従業員が仕事中にケガをしたり、仕事が原因で病気になった場合は業務上の災害となり、次の2点で判断されます。①業務遂行性⇒仕事に生じたケガや病気、②業務起因性⇒仕事の原因のケガや病気。

労災保険は、病院にかかったときの診察料、その間会社を休んだ際の休業補償、障害を負ってしまった場合や死亡してしまった場合の金銭的補償などで、月1回しか勤務しないような従業員も対象です。

ケガや病気にかかる費用などを国が補償してくれるので安心とはいえません。たとえば、建設現場で落ちてきた物が頭にぶつかってしまったり、仕事のストレスが過度に溜まるほどの

残業が続いた結果、脳梗塞や心筋梗塞になってしまったという場合は労災認定されますが、会社が当然の義務として気遣ってくれていればこんなことにはならなかったのになってしまいます。

会社には従業員が安全・健康に勤務できるように心配りをしなければならない義務(安全配慮義務)があります。「労災事故=安全配慮義務違反=会社の責任」という図式が成り立つので、特に障害や死亡まで至ってしまった場合、労災が認められると、本人や家族から1億円を超える損害賠償請求をされる恐れもあり得ます。日頃から従業員への安全配慮は徹底しましょう。



今月は、中央区帯山にある株式会社伍勝建設さんの新社屋で宮田涼社長にお話を伺ってきました。

——新社屋ご完成おめでとうございます。

ありがとうございます。土地は5~6年前から探していて、やっと良い場所が見つかったので昨年のお盆位からとりかかって10月末に完成しました。

——現在8期目ですが、創業以来ずっと右肩上がりの経営です。

3年ほど前から公共工事も取れはじめ仕事の幅も広がりました。人員体制は、現場9名、営業2名、事務1名です。熊本の舗装会社の半分は大手から仕事をもらっているのですが、営業社員を置いているところはないと思います。ただ、うちは営業には力を入れていて、1級土木の免許を取らせたくて、営業ごとに担当を決めるなど、こと細かく対応できるようにしています。



宮田社長

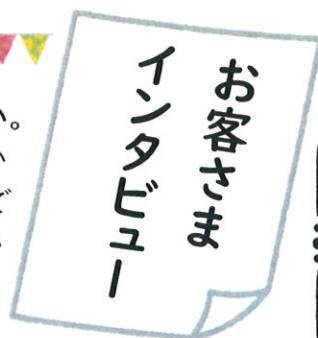
——営業社員が2名ですか。

公共工事が少なくなっていくのは目に見えています。たださえ入札も取りにくくなっているので、その中で生き残っていくためには民間工事を営業して取っていくという形を作る必要があります。

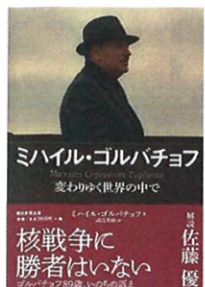
——外国人技能実習生を受け入れていらっしゃいますね。

特定技能実習生のネパール人を1名です。在留期間を更新し続けることで無期限で日本に滞在できるので、日本人雇用と同じです。とてもまじめで、他の従業員とラーメンを食べに行ったりして和気あいあいとしています。近々家族を呼び寄せるみたいで楽しみにしていますよ。こちらが文化の違いを受け入れることができれば間違いなく戦力になります。

比較的若い人材が多いので勢いはあるよと宮田社長。原油高の影響を物ともせず突き進む姿勢は大変勉強になります。ありがとうございました。



ミハイル・ゴルバチョフ  
変わりゆく世界の中で



口の核軍縮の後退への  
警笛本ともいえます。

ソ連を「悪の帝国」と嫌っていた当時のレーガン米大統領との核軍縮協議で中距離核戦力(INF)廃棄条約に調印しました。しかし、INF廃棄条約は一昨年米国の離脱で失効。米

東西冷戦凍結の立役者で、ノーベル平和賞を受賞した旧ソ連のゴルバチョフ元大統領の回想録です。昨年91歳で亡くなりましたが、同氏はすでに長大な自叙伝を執筆し、各国で出版されています。

### 乱読コーナー

同氏は書記長就任とともにペレストロイカ(改革)、グラスノスチ(情報公開)、思想考外交に取り組みました。興味深かったのは、歴史的な首脳外交の舞台裏。米ソ核軍縮や東西ドイツの統一、冷戦の終結といった大きな出来事の経緯を各首脳が発言などを引用しながらつまびらかにしています。